

パネルディスカッション 1

「消化管癌における Conversion 手術の現状と展望」

司会 北川 雄光（慶應義塾大学外科）

加藤 健（国立がん研究センター中央病院頭頸部・食道内科）

近年の全身化学療法の進歩は、様々な変化をもたらしている。とくに免疫チェックポイント阻害剤の進歩は、緩和的化学療法として、生存期間の延長効果をもたらすのみでなく、Conversion 手術を併用することで、治癒を期待できるケースもあることが報告されている。しかし、どのような患者にどのようなタイミングで、どのような治療を行うことが適切なのか、不明な点も多い。本セッションでは、臓器および職種横断的なディスカッションにてこの CQ を掘り下げていきたい。